2025年6月9日
第168号
NRU
国労九州
〒812-0013 福岡市博多駅東3丁目9番3ッ号
1003092-483-1515
発行責任者 千々岩 隆彦
編集責任者 水流

被爆80年九州本部平和学習交流会開催！

6月6日・7日の2日間で九州本部平和学習会を開催しました。両日とも13時に浦上駅前に集合して行いました。参加者が6日に集中したため、慰霊碑に参拝した後、4班に分かれて平和公園、爆心地公園等、一本柱鳥居を見学。浦上駅から道ノ尾駅に移動して原爆救援列車モニュメントを見学しました。各班の責任者は地元長崎地区本部が行い、各行先で詳しい説明を頂き、初めて知った内容もあり大変勉強になりました。西日本からも4名の参加があり、両日合わせて50名の参加でした。

国鉄原爆被災者慰霊碑前

原爆投下から3時間後に救援列車を走らせる！

昭和20年8月9日の原爆により長崎の街が悲劇を襲いました。国鉄も長崎駅・浦上駅舎が倒壊・焼失し職員150人以上が死傷し壊滅的な被害を受けました。しかし、その3時間後には、自ら被爆の危険がある中、使命感から被災者を救おうとして救援列車を走らせました。長崎駅から10キロの長与駅に停車していた31列車が第1号の救援列車となり、計4本の列車を走らせています。救援列車は爆心地から1.4キロ離れた照園寺付近までしか行けず、そこで停車し被災者を救済し諫早駅にある海軍病院まで3500人を救済しています。列車に乗せる際の証言がありましたが、とても生々しい内容ばかりです。

あらためて核兵器の恐ろしさ、平和を守ることが一番大事だと感じました。

組織拡大対策会議を開催

6月7日10時より長崎出島メッセにおいて九州本部組織拡大対策会議を開催しました。この会議には、本部岩元書記長と国労西日本から4名の参加を頂きました。本部書記長から、この間の全国の組織拡大の現状・状況を報告して頂き、この間国労加入を決意してくれた国労西日本の2人からその報告と決意を受け学習しました。

27歳の谷口さんからは、仕事を通じて国労を知った。職場で国労は要求をしている。何もしない日貨労に違和感があった。国労のキャンプや学習会に参加し関心を持ち、自分の意志で加入を決意した。昨日平和学習に参加し、平和でないと組合運動は出来ない事を学んだ。人任せにせず、自分で行動し知識を付けることが大事だと考える。

二人目は、貨物ロジで働く30歳の澤井さんから、日貨労は転勤問題で何もしてくれなかった。国労は交渉で職場改善や賃金問題も交渉してくれることに感銘を受け国労加入を決意した。伝統のある組合で紳士的な対応をしてくれている。こうした平和学習にも参加でき、全国にも仲間がいることを知ってよかった。

共通しているのは、仕事等で困った時に国労がそばにいて相談にのっている事です。職場で、意識を持って耳を傾け九州でも組織拡大に全力を上げよう。